

【日本遺産】

シリーズ⑪

# 出雲國たたら風土記

## 鉄づくり千年が生んだ物語



地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定している日本遺産。そんな日本遺産に、たたら製鉄に関するストーリーが「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」として認定されています。

ここでは、日本遺産の構成地域である安来市・雲南市・奥出雲町が共同して、日本遺産の構成文化財を紹介します。

### ■奥出雲たたら製鉄及び 柵田の文化的景観(奥出雲町)

奥出雲ではかつて、山を切り崩し、たたら製鉄の原料となる砂鉄を採取する「鉄穴流し」が行われていました。その跡地は柵田へと姿を変え、奥出雲町の特産品「仁多米」を育む大地となりました。

また、たたら製鉄には多くの木炭が必要となるため、先人た

ちは計画的に木を切り、山を再生させるなど、資源が循環する仕組みを守り続けてきました。

こうした自然と共生する持続可能なシステムと景観が評価され、平成26年3月に中国地方初の「国の重要な文化的景観」に選定。さらに令和7年8月には、「世界農業遺産」に認定されました。



▲福頼柵田 (奥出雲町)

問い合わせ 観光振興課  
☎ 23-3110

### 関連情報はこちら

右下2次元コード：  
出雲國たたら風土記  
Instagram

左下2次元コード：  
鉄の道文化圏ホーム  
ページ



＝人権尊重社会の実現をめざして＝

シリーズ  
人権を  
考える 79

### 『SDGs と人権』 ～「誰一人取り残さない」 人権尊重の考え方～

SDGs (持続可能な開発目標) は、17のゴールと169のターゲットを掲げ、「誰一人取り残さない」社会を目指して世界中で取り組まれています。

この理念の根底にあるのは、誰もが生まれながらに持つ「人権」を尊重するという考えです。「貧困」「健康」「教育」「ジェンダー」「不平等」などの目標に取り組むことは、弱い立場の人々を含め、すべての人の「生きる権利」や「学ぶ権利」を守ることにそのものなのです。

人権は、個人の権利だけではなく、社会全体の安定と発展の土台でもあります。人権が軽視される社会では争いや差別が起きやすく、経済の発展も停滞してしまいます。SDGsが目指す、

すべての人が尊厳を持って生きられる社会は、人権が大切にされて初めて実現するのです。

昨年6月発表のSDGs達成度ランキング(国連持続可能な開発ソリューション・ネットワーク)において、日本は世界19位でした。「飢餓をゼロに」「ジェンダー平等」など、6項目が「深刻な課題」という厳しい評価を受けています。

目標達成期限の2030年まであと4年。私たち一人ひとりに何ができるのか、より具体的に考えてみませんか？



### ◆3月の「特設人権相談所」

開設日時 3月19日(木)9時30分～12時  
場所 広瀬社会福祉センター 視聴覚室

問い合わせ 人権施策推進課 ☎ 23-3095